

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	学童ホール支援グループ
-----	-------------

取組の名称	子どもを見守るみんなの居場所作り事業		
実施場所	たまっ子学童ホール		
対象地域	川崎市多摩区		
対象地域の特色・課題	近隣に小学校が多くあり、子育て世代が多い地域である。新しい保育園もでき、働く母親の多いことがわかる。シニア世代も多いが、交流の場は少ない。		
取組の趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共働き家庭やひとり親家庭の親子を支援する。</li> <li>・ 地域の人にも気軽に立ち寄れる、みんなの居場所を作る。</li> <li>・ 多世代が交流し、みんなで子どもを見守る。</li> </ul>		
実施内容・実施スケジュール	<p>① 放課後児童健全育成事業 学校がある日は放課後から、学校のない日は早朝から、保育にあたった。通年で、中学生以上のボランティアを受け入れ、保育の手伝いやたまっ子まつりの手伝いをしてもらった。</p> <p>② たまっ子どうぶつしょうぎ大会 (4/29, 5/17, 6/21, 8/30, 9/27, 10/13, 11/3, 12/7, 1/18, 2/14 開催) たまっ子まつり (7/6, 11/16, 3/15 開催)</p> <p>③ こども食堂 (4/18, 5/16, 6/20, 7/18, 8/22, 9/19, 10/17, 11/21, 12/12, 1/16, 2/13, 3/13 開催)</p>		
参加者の年代	① 小・中学生 ② 幼児～大人 ③ 幼児～大人	定員 (1回あたり)	① 25名 ② なし ③ 40名
実施頻度	① 月曜～土曜日 ② しょうぎ (年 10)	活動日数 (年間)	291日

	回)まつり(年3回) ③ 月1回		
スタッフ体制	① 2～5名 ② しょうぎ大会2～4名、たまっ子まつり 5～10名 ③ 2～3名+菅ごはんの会		
連携する団体・ 連携の手法	菅ごはんの会 こども食堂は、こちらで予約を受け付けて買い出しをし、 準備・調理・配膳・片付けをお任せしている。 こども食堂の当日は、15時半から台所と二階を貸し出す。		
取組実施により 見込まれた効果	① 年間を通して広くボランティアを募ることで、小学校 教諭や保育士を目指す学生も受け入れ、お互いに良い 経験となっている。 健康保険福祉士が月2～3回保育に入ることで、児童の 問題行動やスタッフのメンタル面をサポートしてい る。 ② 町内会の掲示板や、近隣の保育園・幼稚園にも案内を貼 らせてもらったり、学童児や保護者が知り合いにチラ シを渡したりすることで、広く宣伝している。 たまっ子まつりはタウンニュースにも掲載を依頼し、 多くの人を訪れた。学童児は店番を手伝い、地域の人と の交流を楽しんだ。 どうぶつしょうぎ大会は、地域の人や学校のお友だち 等、誰でも気軽に参加できることで子どもたちに人気 である。 ③ こども食堂は、月に1回開催することで、その日だけ も夕飯作りから解放されて子育てに余裕が持てると好 評である。		